

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定や重点プロジェクトに係るスケジュール

スケジュール等 主な取り組み等	主な取り組み内容 (全体イメージから転記)	主な目標等(年度等)	当面のスケジュール				
			平成 21 年度までの取り組み	平成 22 年度の取り組み			
				第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
ごみ処理基本計画策定	「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」を実現するため、施策の全体像や注力すべき点を明確にした「ごみ処理行政の方向性」を整理し、市民の意見等をお聞きしながら「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」として取りまとめる	H22 中に基本計画を策定し、H23 から計画に位置づけられた取り組みを实践する ・ H22 に市民の意見等も踏まえ計画策定 ・ 計画策定の一環として、清掃センター1 場体制に向けてバックアップ(共有設備や民間活用等)や収集体制(最適パターン)、経済比較などについて検証	・計画の骨格(環境基本計画と連動)作成 ・市民・事業者向けアンケート(環境基本計画策定と共同実施) ・関係者(市民、事業者、関連団体等)との意見交換	・素案作成 ・関係者との意見交換やパブリックコメント等の実施 ・総合計画基本計画への位置づけ等	・ 計画策定 ・H23 当初予算要求(推進経費等)	・計画の広報等	
重点プロジェクトの方向性	家庭系ごみ減量施策	プラ類(リサイクルルートの開拓等)、木くず(リサイクル化等)、生ごみ(補助制度の見直しや団体を対象にした働きかけ等)に対し重点的に取り組む また、収集家庭ごみの有料化については、法的整合性に係る情報収集を進める	排出抑制を基本に、焼却ごみや埋立ごみを可能な限り減量する方向で施策を展開する ・ H22 以降、生ごみが地域の中で資源循環するシステムの構築に向け、モデル地区を活用しながら検討を進める ・ H22 以降、剪定枝の資源化に向け、モデル地区を活用しながら検討を進める。 ・ H22 に燃えるごみに分別指定している製品プラスチックや雑がみのリサイクルを進める	・製品プラスチックリサイクルのモデル事業(分別区分の増など) ・雑がみリサイクルのモデル事業(回収範囲の拡大など)	・ 製品プラスチックのリサイクル(実施予定) ・ 雑がみのリサイクル(実施予定) ・ 生ごみリサイクル(調査研究⇒モデル地区選定) H23 以降段階的に拡大 ・家庭系古紙搬入規制(実施予定) ・その他減量施策に係る検討(生ごみ処理機補助制度の見直し等)	・検討継続 ・新たな減量施策の検討 剪定枝のリサイクル(調査研究⇒モデル地区選定)など ・H23 当初予算要求(H23 以降の減量施策に要する経費等)	
	事業系ごみ減量施策	木くず(搬入規制検討等)、生ごみ(民間活用等)に対し重点的に取り組む また、直接搬入ごみ手数料の改定に向けた研究を進める	排出抑制を基本に、焼却ごみや埋立ごみを可能な限り減量する方向で施策を展開する ・ H22 以降、関係課所連携による許可業者への指導強化に取り組む ・ 一般廃棄物の許可のあり方に関する検討を進める ・ 生ごみについては、市外民間処理施設の活用を大規模事業者に指導するほか、H22 以降、市内環境産業の育成・協働に取り組む ・ 直接搬入手数料の改定に向けた検討を進める	・許可業者への分別徹底・排出抑制指導の強化検討 ・許可方針のあり方に関する検討⇒適宜ごみ処理計画に位置づけ ・生ごみの市外民間処理施設の活用指導(市施設も含む)	・ 許可業者への分別徹底・排出抑制指導の強化(実施予定) ・剪定枝等木くずの搬入規制(実施予定) ・生ごみについて、市内環境産業との協働(関係者間の意見交換などから長期的スパンで取り組む) ・その他減量施策に係る検討(直接搬入手数料改定検討等)	・検討継続 ・新たな減量施策検討	
	一般廃棄物ゼロ・エミッション推進	熔融炉運転とのコスト比較により主灰のリサイクルを検討し、総合計画実施計画等への位置づけを図る	埋立ごみの極小化に引き続き取り組む ・ 主灰の民間リサイクル化により熔融炉を廃止する⇒熔融炉に要する経費・人員の組替えを実施 ・ H22 以降、H18 から開始しているびん選別残渣のリサイクルを拡大する ・ H22.1 から従来埋立していた微小金属類のリサイクルを開始	・分別区分の変更による微小金属のリサイクル開始(H22.1) ・主灰の民間リサイクルと熔融炉廃止の検討(廃止手続完了までは休止、人員は許可業者の指導強化等に再配置)	・ 主灰の民間処理委託開始 ・びん選別残渣のリサイクル拡大 ・民間活用など山田粗大ごみ処理施設の今後のあり方検討開始	・H23 当初予算要求(H23 以降の取り組みに要する経費等)	・検討継続
	アセットマネジメント(新たな資産管理システム)導入	環境省指針や生活排水アセット等を踏まえながら、既存施設の機能確保と再生、戦略的な施設配備に向けた新たな資産管理システムとして、アセットマネジメントを活用することとし、その導入に向けたスケジュールを整理する	企業会計の考え方を取り入れた 新たな資産管理システムの構築に向け、長寿命化計画の策定と一般廃棄物会計基準の導入を進める ・ H22 に南部清掃センター「長寿命化計画」を策定(他の2施設についてはH23以降順次策定) ・ H21 中に原価計算方式見直しの検討を進める(企業会計の考え方を取り入れた「一般廃棄物会計基準」の採用)	・環境省「長寿命化計画策定の手引き」「一般廃棄物会計基準」に係る情報収集 ・長寿命化計画策定の事前作業 ・一般廃棄物会計基準に基づく原価計算(H20年度原価)	・南部清掃センター長寿命化計画の策定 H23 以降、リサイクルプラザクリンピーの家、クリンピーの森についても順次策定	・H23 当初予算要求(H23 以降の取り組みに要する経費等)	・事前作業
	市民協働の仕組み	市民総ぐるみの発展改組やまちづくり団体との協働など、単なる美化活動だけではなく、ごみ減量リサイクルの推進にシフトした新たな仕組みづくりを行う	市民総ぐるみ運動の見直しと環境関連市民団体等との連携強化を軸に検討を進める ・ H22 に従来の美化と併せごみ減量リサイクル等も柱とする方向で総ぐるみを再構築し、順次新たな運動を展開する	・市民総ぐるみ運動の見直しに係る検討(課題整理) ・環境関連市民団体等との連携強化(意見交換・ヒアリングを継続)	・検討継続	・ 環境基本計画の策定に併せ、総ぐるみ運動役員会や総会における見直し案検討	

<参考資料>「今後の取り組みの方向性」の概要（全体イメージ）について

～今後の取り組みの方向性と各種関連計画との整合性～

